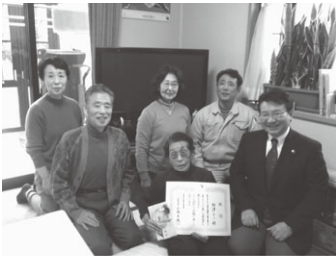


百歳おめでとぅ ございます

栃澤レンさん（大正2年2月生）が百歳を迎えられ、市長より祝詞とお祝いの品を贈呈しました。栃澤さんは若い頃は日本舞踊をたしなみ、今も身だしなみに気を配っているとのことです。日頃はテレビで歌やスポーツを観賞したり、草取りや庭掃除をして、身の回りの洗濯など一人でできることは自分でやりながら健康に過ごされています。また、デイサービスでは体操・ボール投げなどを仲間と楽しんでいるとのことです。



いつまでもお元気で過ごしてください。

祇園小・国分寺中が 同時に優秀賞を 受賞！



平成24年度健康教育推進学校表彰において、本市の祇園小学校及び国分寺中学校の取り組みが評価され、最優秀賞に続く優秀賞を同時に受賞し、市長に報告に訪れました。

■主な取り組み

- ・ 祇園小学校：「新しい時代を健康で明るく生きる子を目指して」食育の取り組み
- ・ 国分寺中学校：「自主的に心身の管理ができる生徒」の育成

南河内地区の小学校に いちごをプレゼント

南河内地区28戸のいちご農家で構成するJ A うつのみや苺専門部南河内支部（支部長 小川秀雄氏）が、去る3月1日（金）と8日（金）の2回に分けて、「とちおとめ」約4,000個を、南河内地区の5つの小学校（児童数約1,400人）へプレゼントしました。

このプレゼントは、震災で一時休止していましたが、今年で8回目となります。

今回、提供されたいちごは、地元のいちご農家の皆さんの愛情がいっぱい込められたとれたて新鮮ないちごです。



農地・水保全管理活動組織の活動瓦版 柴地区環境保全会が ホタルの幼虫を放流しました

3月3日（日）に柴地区環境保全会とホタル・カワセミの会の共同により、地元の人達20名が参加して「ホタルの幼虫放流会」が行われました。

当日は、国分寺東小学校東側の用水路にゲンジボタルの幼虫300匹をみんな放流しました。今回放流した幼虫は、6月にはきれいな光を放ち飛び立つ姿をみせてくれます。みなさん楽しみにしていてください。

ゲンジボタルとは？

本州から九州まで広い範囲で生息し、日本でもっとも親しまれている蛍。体長は約15mm前後でメスの方が体が大きい。

幼虫のときにはカワニナ（巻貝）を餌にしている。成虫は5〜6月に発生し、夜間活動するが、その期間は2〜3週間しかない。



ゲンジボタルの幼虫